

「い」から変わる 未来が変わる



新しいコンセプトによる「集まり」から
「発見」や「感動」を分かち合ひましょう



医療者・介護者・福祉者のための

ケア☺カフェあさひかわ

Care Café Asahikawa

ケア・カフェあさひかわ実行委員会

ようこそ!「ケア・カフェあさひかわ」へ

『ケア・カフェ』は、まったく新しいコンセプトで行われる医療者、介護者、福祉者の集まりです。これは「カフェ」です。そう、コーヒー片手にケーキやドーナツを食べながらおしゃべりをする、あのカフェ。「ケア」という字がついていきますので、ただ集まって雑談をするだけではないですが、雰囲気としては巷にあるカフェをイメージしてもらえるといいと思います。

さて、ケア・カフェで何をしていくかということ、それは顔の見える関係づくりと日頃のケアの相談場所の提供です。このありそうでなかった場を作るために、多少の戦略といくつかの工夫をもってケア・カフェを作っていきます。

その戦略と工夫、背景にある考えを共有することも今後のカフェの活動に大切ですので、書いていきたいと思います。「いいね!」と思った方は、ぜひともカフェに参加し、その一員となってください。

ケア☕カフェあさひかわのメリットとは?

これまでの講演会、研究会の場合

- 得られる知識は講師の持っている情報や価値観に限られる
- 話された情報のごく一部しか頭に残らない
- 聞きたいことがあっても聞けない
- 現場の問題解決には繋がりがづらい
- 新しい意見や未来への動きは生まれづらい
- 参加者間の繋がりは生まれない

ケア・カフェあさひかわの場合

●多くの情報や様々な価値観・考え方を得ることができる

カフェでは職種や普段の立場を離れて、互いに意見や考えを出し合うことができます。同じメンバーで話し合っていると、なんとなく意見や価値観が似てきて、閉塞感を感じるものです。一方でカフェで今まで会ったことがない人(つまりこれまで知らなかった価値観との出会い)との話し合いでは、新たな情報や様々な考え方を知ることができます。

●多くの知識が身に付く

一方向性の講義では身に付く知識はほんのわずかですが参加型の会にすることで、記憶に残る確率を格段にあげることができます。カフェは基本的に相互討論の場ですので、その場で話し合ったことは同じ内容を講師から一方的に聞くことと比べて、多くを身に付けることができます。

●どんなことでも聞きやすい雰囲気がある

カフェではその名の通り、話し合いはコーヒーやお茶を飲みながら進められます。適度にざわついている周囲の環境もあって、とても話しやすい場になります。講演会で手を挙げて聞くのはちょっとはばかれる質問、日常のちょっとした疑問などを近くの人と気軽に話し合える雰囲気があります。

●「今」困っていることの解決に繋がる

ケアや臨床の現場は待ったなしです。明日にでも解決したいこと、月をまたがずに決着をつけたいことなどが山積しています。研究や学問が進んだり、制度面での変化が起こったりすることで解決する場合がありますが、現場はそれを待ってはもらえないというのも正直なところです。カフェでは同じ「現場」に携わって、同じように悩んでいる人の間で知識や経験交流がなされます。まさに「今」困っていることを相談しあうことができるのです。

●新たな発見・未来へ向けた取り組みが創造される

多様な意見、多様な価値観のぶつかり合いがあるからこそ、新たな考えが湧いてきます。カフェは相互に刺激しあい、それぞれの隠れた能力が引き出される場です。さらにその場での議論をもとに今後の新しい取り組みが生まれることも期待されます。

●顔の見える関係が作られる

顔が見える関係とはただ単に「顔を知っている」ということではなく、「どんな考えを持った人かわかる」ことです。カフェで意見のやりとりをするうちに、地域のケアに関わる人達がお互いに顔の見える関係を築き、現場の仕事に活かされることが期待できます。